

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール神戸王子		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全体の満足度が高い。	・お子さまが楽しみながら学んでいただけるようにプログラムを設定したり、職員対応も丁寧にお話を聞き取ったり、スクールの衛生環境等については毎日の掃除やセッションごとのアルコール消毒、月に1回は遊具の確認とボールプールのボール全てふき取りをしたり取り組んでおります。	・より専門的な内容(作業療法士などの専門職)を取り入れながら、他の施設との差別化を図っていききたい。
2	ご利用者様と信頼関係を築くことができている。	・どの職員が入ってもお話されても情報が共有され、同じ内容を最初から話さなくてもよいように情報共有を職員間で行っている。 ・お子さまや保護者様に寄り添い無理強いをしたり、せずお子さまのペースに合わせることや、保護者様に対してもお話を聞き、受け入れるところかお話を伺うようにしている。	・今後もお一人お一人に丁寧に取り組み、それぞれのご家族に合った支援や方法をご提案できるように聞き取りながら関わっていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材不足。	・できることはしながら応募を待っている状態で、良い方の応募がなかなかない状態。他事業所よりも給与の低さが影響していたり、常に求人が出ているため、不安に感じられる方がいたりするのではないかと考えられる。	・今後も継続して応募に繋がるようにできることに取り組んでいく。採用が決まった際は、長く勤めていただけるように働きやすい環境を整えていく。
2	セッションルームの狭さ。	・開所当初の事業所評価アンケートなどでも必ず書かれている。そのため、遊具の時間が終わると遊具を外すなどして対応しているが、狭さが気になる方がいらっしゃる。また、最初から遊具を外してしまうと、遊具に乗ることが好きなお子さまが多いため、すべての遊具を吊っていることが多い。	・今後も継続して遊具を外すなどしながら、見ている方にも安心していただき、お子さまにも満足していただけるように取り組んでいきたい。